

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
---------	---

2. 各教科における学習活動

発表活動、ペアワーク、グループワーク、授業ノート、演習課題、レポート、小テスト

学習喚起ルーブリック

生徒の望ましい姿 教科活動	優	良	可	未達成
発表活動	自分の考えをまとめ、根拠をもって、筋道を立てて発表できている。	自分の考えをまとめ、自分の言葉で発表できている。	発表することができた。	十分にに取り組むことができなかった。
ペアワーク	相手の考え方の良い点を取り入れて自分の考えを深めた。	相手の理解に合わせて話すことができた。	話し合うことができた。	
グループワーク	考えを取り入れ、深め、分析し、よりよい考え方を共有できた。	仲間の考え方の類似点や相違点をまとめた。	話し合うことができた。	
授業ノート	授業内容を工夫をして記録し、まとめ、期限までに提出した。	授業内容をもれなく記録し、期限までに提出した。	期限までに提出した。	
演習課題	工夫をして取り組み、期限までに提出した。	全てにおいて必要な程度に取り組み、期限までに提出した。	期限までに提出した。	
レポート	課題について適切に分析し、説得力をもってまとめている。	自分なりに要点をまとめ、重要な点について逃さず書けている。	期限までに提出した。	
小テスト	非常によくできている。	できている。	できていないところがある。	

3. 各科目

「1年 国語」

使用教材 国語1（光村図書）、中学書写（教育出版）、国語便覧（浜島書店）、よくわかる国語の学習1（明治図書）、漢字ボックス（浜島書店）、新版 中学国文法（秀学社）、
読書ノート 三訂版（文芸社）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

年間の学習内容

国語	①	言葉に出会うために
	②	学びを開く
	③	新しい視点で
	④	言葉に立ち止まる
	⑤	心の動き
	⑥	筋道を立てて
	⑦	いにしえの心にあふれる
	⑧	価値を見いだす
	⑨	自分を見つめる

学習計画及び評価方法等

中 単 元 名	小単元	評価基準・評価方法
	（教材名）	【知】（知識・技能） 【思】（思考力・判断力・表現力） 【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	朝のリレー	【知】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【態】 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	野原はうたう	【知・技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（(1)ア） 【態】 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
②	シンシュン	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） 【思・判・表】 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ） 【態】 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
	情報を的確に聞き取る	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。（A(1)エ） 【態】 進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
	比較・分類	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） →情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。 【態】 学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。
	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】 集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
	漢字1 漢字の組み立てと部首	【知・技】 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)イ） 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
③	ダイコンは大きな根？	【知・技】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。（C(1)ア） 【態】 文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。

中 単 元 名	小單元	評価基準・評価方法
	(教材名)	【知】(知識・技能) 【思】(思考力・判断力・表現力) 【態】(主体的に学習に取り組む態度)
	ちょっと立ち止まって	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において，文章の中心的部分と付加的部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) 【態】進んで要旨を把握し，学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
	思考のレッスン1 意見と根拠	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	【知・技】音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，自分の考えや根拠が明確になるように，話の中心的部分と付加的部分，事実と意見との関係などに注意して，話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え，学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
④	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	【知・技】単語の類別について理解している。 (1)エ) 【態】単語の類別を理解するために，今までの学習を生かして，積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め，学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
	詩の世界	【知・技】 ・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ・比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】文章の構成や展開，表現の効果について積極的に考え，学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
	比喩で広がる言葉の世界	【知・技】比喩などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章の中心的部分と付加的部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) 【態】進んで要旨を把握し，学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	言葉1 指示する語句と接続する語句	【知・技】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
⑤	言葉を集めよう もっと「伝える」表現を目ざして	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使おうとしている。
	読書を楽しむ	【知・技】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【態】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し，今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
	大人になれなかった弟たちに……	【知・技】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に積極的に捉え，学習の見通しをもって朗読しようとしている。
	星の花が降るころに	【知・技】比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解している。(1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付けたりして，内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】進んで場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈し，学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	【知・技】音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え，共通点や相違点などを踏まえて，自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】進んで記録したり質問したりしながら，話の内容を捉え，今までの学習を生かして話を引き出そうとしている
	項目を立てて書こう 案内文を書く	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】集めた材料を積極的に整理し，学習課題に沿って案内文を書くようとしている。
	〔推敲〕読み手の立場に立つ	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述のしかたなどを確かめて，文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章を整え，学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。

中 単 元 名	小單元	評価基準・評価方法
	(教材名)	【知】(知識・技能) 【思】(思考力・判断力・表現力) 【態】(主体的に学習に取り組む態度)
	言葉 2 方言 と共通語	【知・技】共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
	漢字 2 漢字 の音訓	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
⑥	「言葉」をも つ鳥、シジュ ウカラ	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
	思考のレッ スン2 原因と結果	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【態】今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
	根拠を示して 説明しよう 資料を引用し てレポートを 書く	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
	話し合いの展 開を捉える	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →「上達のポイント」にある「根拠を述べる」「前の人の意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話題に戻す」を理解している。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) →話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。 【態】進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。
	話題や展開を 捉えて話し合 おう グループ・デ ィスカッショ ンをする	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。
	音読を楽しも う 大阿蘇	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
⑦	音読を楽しも う いろは歌 古典の世界	【知・技】 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) 【態】古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。
	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物 語」から	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
	今に生きる言 葉 〔書く〕故事 成語を使って 体験文を書こ う	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
⑧	「不便」の価 値を見つめ直 す 〔書く〕根拠 を明確にし て、意見をま とめよう	【知・技】 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
	助言を自分の 文章に生かさ う 作品の書評を 書く	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
	文法への扉 2 言葉の関係を 考えよう	【知・技】単語の類別について理解している。 (1)エ) 【態】単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。

中 単 元 名	小単元	評価基準・評価方法
	(教材名)	【知】(知識・技能) 【思】(思考力・判断力・表現力) 【態】(主体的に学習に取り組む態度)
⑨	少年の日の思い出	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態】文章の構成や展開，表現の効果について積極的に考え，学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	文法への扉3 単語の性質を見つけよう	【知・技】単語の類別について理解している。((1)エ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に単語の類別について理解しようとしている。
	随筆二編	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】進んで場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈し，今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ，発表する	【知・技】 ・音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。((1)ア) ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】集めた材料を積極的に整理し，今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ，発表しようとしている。

「2年 国語」

使用教材 国語2（光村図書）、中学書写（教育出版）、よくわかる国語の学習2（明治図書）、漢字ボックス（浜島書店）、新版 中学国文法（秀学社）、
読書ノート 三訂版（文芸社）、読む力をつけるノンフィクション選 中高生のための文章読本（筑摩書房）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

年間の学習内容

2年国語	①	広がる学びへ
	②	多様な視点から
	③	言葉と向き合う
	④	人間のきずな
	⑤	論理を捉えて
	⑥	いにしへの心を訪ねる
	⑦	価値を語る
	⑧	表現を見つめる

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 (教材名)	評価基準・評価方法
		【知】(知識・技能) 【思】(思考力・判断力・表現力) 【態】(主体的に学習に取り組む態度)
①	見えないだけ	【知】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) →詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	アイスブラネット	【知】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) →登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。 【思】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) →「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。 【態】積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	枕草子	【知】現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思】(ア)「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) (イ)「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
②	クマゼミ増加の原因を探る	【知】話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) 【思】(ア)「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア) (イ)「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
	メディアを比べよう	【知】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思】(ア)「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ) (イ)「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) (ウ)「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理している。(B(1)ア) 【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
③	短歌に親しむ	【知】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思】(ア)「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) (イ)「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) (ウ)「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。

「3年 国語」

使用教材 国語3（光村図書）、中学書写（教育出版）、よくわかる国語の学習3（明治図書）、漢字ボックス（浜島書店）、新版 中学国文法（秀学社）、読書ノート 三訂版（文芸社）
新・国語の便覧、入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版、読んで見て聞いて覚える 重要古文単語 315 新版 、古典文法クリアノート・新明説漢文シリーズ(尚文出版)

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

年間の学習内容

3 年 国 語	①	深まる学びへ
	②	視野を広げて
	③	情報社会を生きる
	④	言葉とともに
	⑤	状況の中で
	⑥	自らの考えを
	⑦	いにしえの心を受け継ぐ
	⑧	価値を生み出す
	⑨	未来へ向かって

学習計画及び評価方法等

中 単 元 名	小単元 (教材名)	評価基準・評価方法
		【知】(知識・技能) 【思】(思考力・判断力・表現力) 【態】(主体的に学習に取り組む態度)
①	握手	【知】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(1)イ) 【思】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。(C(1)イ) 【態】粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
	学びて時に之を習ふ——「論語」から	【知】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 【思】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	漢字 1 熟語 の読み方	【知】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
②	作られた「物語」を超えて	【知】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン	【知】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思】 【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
	情報整理のレッスン	【知】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ) 【思】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 【態】手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
③	報道文を比較して読もう	【知】理情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ) 【思】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 【態】積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。

「3年 発展国語」

使用教材 現代文長文記述問題集 1 読解力習得編（いいずな書店）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	身の回りの具体的な事柄や抽象概念について、自分の考えをもち深められる思考力を身につけている。目的や場面に応じて、受け手に対して強い印象を与えられる表現力を身につけている。	言葉への認識を深めようとしているとともに、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

年間の学習内容

国 語 発 展	①	論理的な文章
	②	文学的な文章（随想・小説）

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 (教材名)	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能） 【思】（思考力・判断力・表現力） 【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	1 アジア再発見の時代	【知】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思】 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)／「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え、表現の効果を考えて記述している。(B(1)ウ) 【態】 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。
	2 自然な建築	
	3 声が生まれる	
	4 「中間のもの」とは何か	
	5 「信じる者」は救われるか	
	6 権利と義務の関係	
	7 今を生きるための現代詩	
	8 大人のための国語ゼミ	
	9 貨幣とは何か	
	10 手の倫理	
	11 科学と感性	
	12 特異性から普遍性へ	
②	13 言葉のない会話	【知】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【思】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)／「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え、表現の効果を考えて記述している。(B(1)ウ) 【態】 話の構成や表現について積極的に評価し、言葉への認識を深めている。
	14 ぼんやりとは聞けない	
	15 母の裏切り	
	16 勝手にふるえてろ	
	17 正義と微笑	
	18 笑い三年、泣き三月。	
	19 銀河鉄道の父	
	20 風立ちぬ	

中 単 元 名	小単元 (教材名)	評価基準・評価方法
		【知】(知識・技能) 【思】(思考力・判断力・表現力) 【態】(主体的に学習に取り組む態度)
18 日 本 語 の 中 と 外	「月の語訳」 「日本語の部屋 バイリンガル・エキサイ トメント」	【知・技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。((1)ア) ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。((1)オ) ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。((2)ア) ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。((2)エ) 【思・判・表】 ❶作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(Bイ) ❷作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(Bオ) 【主】 ・進んで我が国の言語文化の特質について理解し、我が国の言語文化について自分の考えをもち、今までの学習を生かして我が国の言語文化について論述しようとしている。

